

0-4点で点数化 0「そう思わない」 1「あまりそう思わない」 2「どちらでもない」 3「ある程度そう思う」 4「そう思う」		
医療（＝not在宅）の場の充実（定量）→救急時の待機時間が少ない等のメリット 病床数が多い ※医療施設動態調査 全国平均より	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
高齢者向けの充実した福祉制度や活躍の場がある（定性） ※認知症対策チームが県内でも早めに整備されている 認知症疾患医療センター	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
子ども医療の充実 予防医療 救急医療 （定性） 小児救急等の整備はされている	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
地元の良さを成長・発信している団体が多い（定性） 住民協議会の市内全地区設置や市民活動センターの設置（拠点がないと活動が継続しない。）市民活動センター登録団体数5年間で116増加	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
個人商店が多い（定量） ※経済センサス 個人事業主の率が伊勢に続いて2位（県内10万以上）	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
食べ物が美味しい（定量？） 飲食店従事者の個人事業主は1位（10％） 飲食店の事業所/全事業所の率も1位	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
交通アクセス 北勢、名張、伊賀、紀勢、伊勢志摩とどの地域にもつながる街道の要所	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
（大型の）公園が多い（定量） 統計（住宅）公園数 全国50/1917位（397か所）	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
水がきれい（定量） 美味しい水研究会（厚生省）による美味しい水の都市（10万人以上）32選の1つ	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	

人と自然の共存 （定量） 耕作地面積 121/1917位 76km ² 経済 農林業者 三重県 1 位 2,510人 国勢調査H27	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
木材利用 （定性） 全国に先駆けた、木材の集積所やバイオマス発電・発熱所などの設置	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
歴史的な資産 （定性） 市の文化財数は258 松阪商人や本居宣長、蒲生氏郷等、独自の資産	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
食文化 （定性） 松阪牛 豚 鶏焼肉 個人飲食店の多さ等 B級 9 位（2016年）	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
ストリート文化との親和性 （定性） スケートパークやダンス部の活躍 ライブハウスもある	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
食育（幼～中まで給食） （定性） 地元のもの食べるちゃちゃもランチ	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
郷土教育 （定性） 偉人の副読本 生きるを学ぶ（山村体験学習プログラムの利用）	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	
子どもを大事にする意識 （定性） 日曜保育や企業内保育の萌芽 地（血）縁による子どもへの支援	30年先にも継続して残すべき （重要度）	
	今、何か手を打つべき （緊急度）	